

指定校番号	29031	学級活動		生徒会活動	学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	--	-------	------	---	------

平成29年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立加茂中学校	校長	藤田 岳士	生徒指導主事	沖藤 豊
-----	-----------	----	-------	--------	------

取組事例名 『生徒の自律・協働を促す学校行事』

取組のねらい『キーワード 自律・協働』

「自律」（活動の見通しを立てたり、振り返ったりすることを繰り返しながら集団の中での自らの役割を果たす）と「協働」（他者意識を持って自分の思いや考えを伝え合い、仲間と共に成功を目指す）を、教師の意図的・計画的な指導・支援を通して促す。

また、成功体験を積み重ねることで、生徒の自己肯定感の向上、共感的人間関係の育成を図る。

身に付させたい資質・能力

望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、仲間と協力してより良い学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度

取組の具体的内容『キーワード 異年齢集団による活動』

（体育大会）

縦割りで組を編成し、3年生の応援団長、応援リーダーが1、2年生の応援リーダーに応援の指導を行った。リーダーは限られた練習時間の中で、いかに全体を効率的に動かすことができるかを考え、話し合い、実行に移した。応援団以外の生徒も体育大会の成功に向けて、指示を聴く姿勢を整える、振付を教え合う、大きな声を出す等、チームのために自分ができることを考え、行動した。



（文化祭）

全生徒による3部合唱を行った。生徒会が中心となって全生徒の意見を集約し、合唱曲の選曲を行った。クラス練習、パート別練習、全体練習は、各クラスのパートリーダーを中心に行なった。全体練習時には、3年生のパートリーダーが成功に向けての思いやアドバイスを伝える場面を設け、1、2年生をリードした。他の生徒は、成功に向けてお互いに意見を出し合ったり、日記に考えたことを書いたりして個人の目標を定め、本番に向けての準備を進めた。



取組の課題・創意工夫 『キーワード 振り返る・伝え合う』

(課題)

練習の序盤にはリーダーの思いが他の生徒に上手く伝わらない場面も見られた。そのため、練習後の反省を行うときに教職員も入り、どう伝えたらよかったか、練習の流れはよかったのか等、振り返りの視点を与えた。また、学校行事は意欲を持って取り組めるが、普段の授業では意欲のない生徒がおり、学校行事と普段の授業をつなぐことに課題がある。

(工夫点)

体育大会や文化祭等、学校行事後の学級活動において、自他の頑張りを振り返り、今後の学校生活にどう活かしていくのか見通しを持つ活動を行った。2学年では、文化祭の成果と課題を付箋に記入し、それを班の中で自分の意見を伝えながら模造紙に貼り、活動のプラス面とマイナス面等を整理するという活動を行った。生徒は、活動を通して互いの良さを認め合うことができた。



取組の成果(効果) 『キーワード 自己肯定感・所属・承認意識』

生徒アンケートの結果から、年間の取組を通して、生徒の自己肯定感や承認意識が高まっていると考えられる。(下表参照)

項目	(%)	
	5月	1月
自分には、よいところがあります。	73.1	79.8
自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	64.4	68.5

自己肯定感・承認意識に係る項目の肯定的評価の割合

また、生徒の振り返りでは、他者の頑張りを認める意見や、自身のやってきたことを普段の学校生活に生かそうとする意見も出た。

(生徒の振り返り)

- 応援リーダーは、声をからし、優勝するにはどうすれば良いかを自分で考えていました。そして、リーダーをサポートする人たちも、放課後に残って練習をしていました。また、陰で必要な物を作ってくれた人などの協力、頑張りがこの結果につながったと思います。この先、自分たちが努力したことを忘れずに頑張りたい。
- 私は3年の先輩の『最後だから優勝したい』という気持ちが、日々の練習の中で伝わってきたので、苦手だったけど、自分から精いっぱい大きな声を出しました。今後は、苦手な授業中の発表もするようにして、自分に自信を持てるようにします。

今後の展開 『キーワード つなぐ』

生徒アンケートの自己肯定感・承認意識に係る項目の肯定的評価の割合は、80%を目標にしている。目標達成のために、教員側が生徒同士をつなぐための活動を意図的に仕組みながら、生徒同士の望ましい人間関係づくりをさらに進める必要がある。3学期は、各学年等で行った活動事例を交流し、次年度につなげる。

他校へのアドバイス 『キーワード 教員の見通しと共通認識』

教員が中学校生活を見通し(3年後の生徒の姿を明確にし)、1年後の生徒の姿を具体化する。その姿をイメージして行事、学年・学級経営の計画を立て、共通認識の下、組織的に事前から事後の指導を行うことが必要である。